



こんにちは。トリプルアイズの白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、「飲酒運転撲滅に向けて強力タッグ～トリプルアイズとミタチ産業が提携」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、

「名古屋、すごかった！ その場で顔認証勤怠を導入」

「大学将棋の頂点を目指して～トリプルアイズ杯のお知らせ」

「【ウェビナー随時開催中】白ナンバー事業者におけるアルコール検知器使用義務化のポイント解説～運用方法と具体的な対策」

「夏季休業のお知らせ」

についてご紹介いたします。

そして連載企画「開発者が語る AIZE の現在・過去・未来」第 5 回、最終回です。

囲碁 AI から画像認識プラットフォーム・AIZE が誕生した経緯、そして社会実装に至るまでのエピソードを、実際に開発を担当するエンジニアたちが語ります。

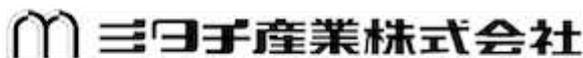
IT 批評では「生成系 AI ブームで注目される ELSI とは何か？」についてご紹介します。

どうぞ最後までお付き合いください。

-----< 目次 >-----

1. 飲酒運転撲滅に向けて強力タッグ～トリプルアイズとミタチ産業が提携
2. トリプルニュース
3. 開発者が語る AIZE の現在・過去・未来
4. IT 批評
5. 編集後記

1. 飲酒運転撲滅に向けて強力タッグ〜トリプルアイズとミタチ産業が提携



トリプルアイズは先日、エレクトロニクス総合商社であるミタチ産業株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：橘和博氏、東証スタンダード市場・名証プレミアム市場《証券コード：3321》、以下ミタチ産業）と「アルコール検知 AI クラウドシステム・AIZE Breath」の販売に関する業務提携を結びました。

■AIZE Breath の能力を引き出す携帯型アルコールチェッカー

トリプルアイズが提供しているアルコール検知 AI クラウドシステム AIZE Breath では、これまでハンディタイプの対応機種としてミタチ産業の携帯型アルコールチェッカー「MT-AL01BT」を取り扱ってきました。

「MT-AL01BT」は、機器単体でのアルコール検知はもちろん、Bluetooth でスマホと連携しクラウドを利用したデータの一括管理も可能です。その性能のため、AI 顔認証とアルコールチェックを一連の動作で行い、記録をクラウドに自動保存するシステムである AIZE Breath との相性もバツグンです。

AIZE Breath と「MT-AL01BT」をはじめとするアルコールチェッカーを使えば、安全管理者の PC 管理画面に打刻時間と検知結果が一括で記録されます。そのうえ、既存の勤怠システムとの連携や運転日報の記入も可能です。

AIZE の顔認証によりなりすましを 방지、かつ運転者と管理者の業務工数を大幅に削減するシステムは、飲酒運転撲滅の強力な武器であるだけでなく、本年 12 月に施行が予定されている改正道路交通法への対応を迫られている多くの企業にとって、単なる義務化対策にとどまらない AI 導入のスムーズスタートともなる優れたものなのです。

AIZE Breath の仕組み

クラウド一括管理だから、面倒な入力や紙の管理から解放されます！

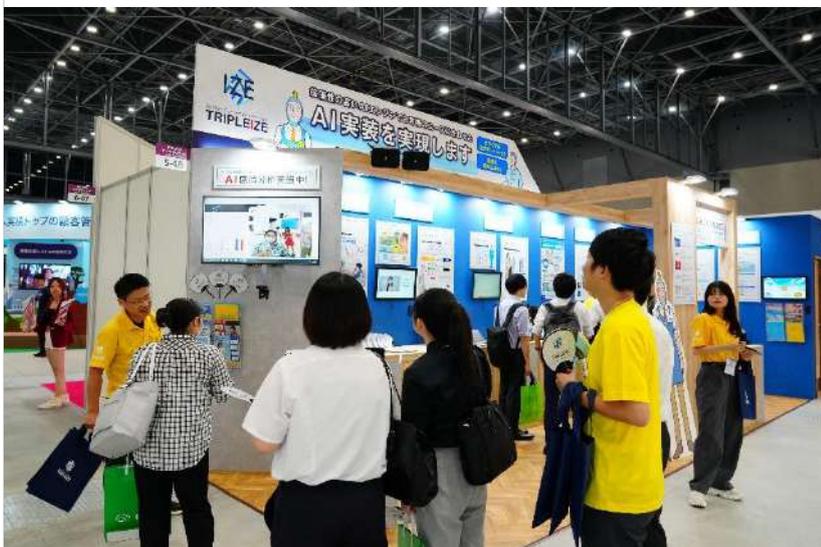


当社代表の山田雄一郎は今回の業務提携に際し次のようにコメントしています。

「私たちは人に優しい ICT と社会に役立つテクノロジーの追求に取り組んでまいりました。このたびの業務提携で AIZE Breath が普及することにより、飲酒運転の撲滅につながることを期待しています。」

2. トリプルニュース

「名古屋、すごかった！ その場で顔認証勤怠を導入」



Japan IT Week 名古屋

トリプルアイズの「AI ビジネス相談窓口」へご来場いただきありがとうございました！

初の中部地方への展示会出展、ありがたいことに多くのお客様とお会いすることができました。

「顔認証で勤怠管理ができるの？」

とある自動車学校の社長様にお尋ねいただきました。

「はい、スマホやPCカメラに顔を写すだけで、わずか1秒で出勤できます。」

社長様は弊社営業の説明を受け、その便利さに驚かれ、トントン拍子に話が進み、すぐさま**その場で導入を決定！** さらに [AIZE Door](#) にもご興味をお持ちいただきました。なんでも新施設を建設されるご予定があり、そこに設置を検討したいとありがたいお言葉を頂戴しました。

AIZE を気に入っていただきうれしく思います。顔認証を使って、従業員の皆さまがより働きやすい環境が整う未来が楽しみです！

このように今回の展示会では「AI 顔認証は知っていたけど、なるほど、こういう使い方があるんですね」というお声を多くいただきました。

ブースに足をお運びいただくお客様の中には、「**プーチン影武者説**」のTVをご覧いただいた方も。「ああ、あの会社！」と関心をもって耳を傾けてくださいました。メディアの力は偉大だと痛感します。

また「**7つの感情をリアルタイムで可視化する AI 感情分析**」には多くの方にお集まりいただきました。そこで「**初めて AI 顔認証を体験しました**」というお客様も。皆さま熱心に話を聞いてくださり、弊社営業も熱が入りました！ ありがとうございます。

そして今回人気だったサービスが、**AI 人材教育通信プログラムの「AT20」**です。

これからますます期待が寄せられる AI 人材の育成プログラムが注目を集めました。製造業、メーカー、情報システム

関連の会社様など多くの企業様からご興味をお持ちいただきました。業界問わず、自社で AI エンジニアを育成したいとお考えの方が多くことをひしひしと感じています。

こうして振り返ると、皆さまのおかげで熱く充実した3日間を過ごすことができました。

中部地方の皆様、温かく迎えてくださり**ありがとうございました！**

また展示会会場でお会いできることを心より楽しみにしています。

顔認証勤怠 AIZE Biz : <https://aizebiz.jp/>

AT20: <https://at20.jp/>

「大学将棋の頂点を目指して～トリプルアイズ杯のお知らせ」



(写真は昨大会のもので)

今年も開催します！

当社が後援する「**トリプルアイズ杯争奪 第19回全国大学対抗将棋大会**（主催：全日本学生将棋連盟）」が9月13日（水）～9月15日（金）の3日間、さいたま商工会議所会館で開催されます。

北海道地区から九州地区まで代表大学10校が集結。若き精鋭たちが、大学将棋トップを目指す将棋大会です。

昨年の優勝校は東京大学でした。今年頂点に立つのはどの大学でしょうか。

将棋好きの皆様、ぜひ注目してください！

【ウェビナー随時開催中】

白ナンバー事業者におけるアルコール検知器使用義務化のポイント解説～運用方法と具体的な対策



白ナンバーアルコールチェック12月に義務化開始！

法令対策特別ウェビナー開催

随時開催！オンラインセミナー

参加費無料

The banner features a blue background with white and green text. On the right, there is an illustration of a man in a light blue shirt holding a smartphone and a breathalyzer device. On the left, there is a photograph of several cars parked in a lot.

アルコールチェックに関する法令対策ウェビナー、**好評につき随時開催**しています。

12月1日より施行予定の**法改正の概要、該当事業者がやること、担当者の実務内容**などを解説。

当社のアルコール検知 AI クラウドシステム「AIZE Breath」のデモ動画や、運転日報の自動作成方法についてもご紹介しています。

ウェビナー**ご参加者だけにお伝えしている特典**もございます。ぜひお気軽にご参加ください！

<こんな方におすすめです>

- ・義務化によって、運転者や安全運転管理者の管理運用に悩まれている方
- ・すでにアルコールチェックの運用をしているが運転者や管理者の工数を削減したい方
- ・記録漏れ、なりすましなどコンプライアンス違反に課題を持っている方

お申込み・詳細はこちら https://www.3-ize.jp/case/detail_20230612.html

夏季休業のお知らせ



トリプルアイズでは下記の日程を夏季休業日とさせていただきます。

2023年8月14日（月）～8月16日（水）

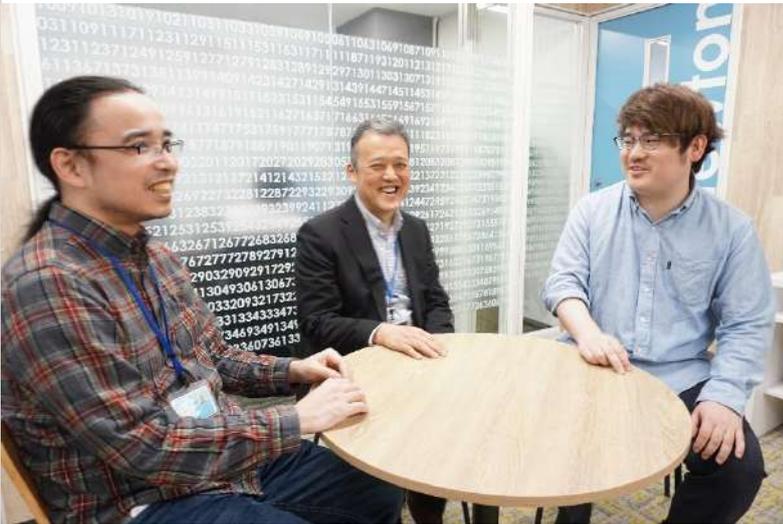
休業中のメール等でのお問い合わせにつきましては、17日以降ご連絡させていただきます。

※8月17日(木)、18日(金)にお休みをいただく社員もおります。お手数をおかけいたしますが、担当者へご確認ください。

皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

3. 開発者が語る AIZE の現在・過去・未来

トリプルアイズ開発部の頭脳とも言えるエンジニア3人が座談会を行いましたので、その模様をお伝えします。最終回、第5回目は**社会実装に注力して得られた知見と、これからの AIZE** についてです。



松崎憲介（写真左）技術本部 AIZE 開発部副部長・徳内哲也（写真中央）技術本部執行役員・片淵博哉（写真右）技術本部 AIZE 開発部部長

社会実装を進めたことで得た大きな知見

片淵：人間の顔って、眉毛も目も大体同じところについているじゃないですか。それを個別に判定していくのはそれなりに難しく、そこをちゃんと**サービスとしてこれまで提供して運用実績もある**ので自信がついてきました。顔から派生して**植物や料理などほかの画像認識にも応用できる**んじゃないかと考えてやってみたらうまくいった。**ビジネスチャンスはどんどん広がっている**と感じています。

徳内：これからは勤怠システムだけでなく、**社会インフラや公共交通インフラにも顔認証は広がっていく**と思います。だから顔認証だけでも可能性は大きいと思っています。AI を使ってこんなことできないかというリクエストが、このところ増えてきています。「できますか」と言われて、「こうやったらできますよ」とスムーズに答えることができているのは、自分たちにもそれだけ**ナレッジが蓄積してきた**んだなと感じています。

片淵：それは2、3年前とはだいぶ違いますよね。

徳内：そうですね。AI そのものの知見もあるんですけど、カメラとか画像の**入力系デバイスの知識も相当たまってきている**と思います。

片淵：それは実装に力を入れてきたからこそですね。

独自 AI 技術で自社ブランドを研ぎ澄ます

徳内：お客様の要求に合わせて AI をカスタマイズしてきたナレッジが一番の財産かなと思います。そこがオープンソースを使って認証しているところとの決定的な違いです。高速化のリクエストがあっても、オープンソースを使っているだけだとできないんですけど、トリプルアイズは自前でモデルを開発しているからお応えできる。顔認証から派生していろんなニーズが出てくると思うのですが、そこに**対応する力はある**と思います。

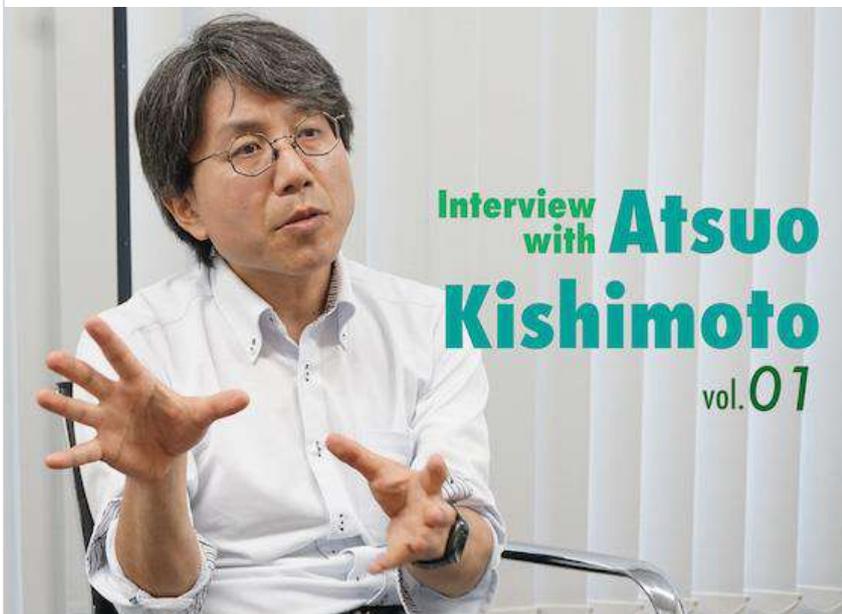
松崎：基礎研究と応用研究を両立してやっていきたいですね。AI モデル単体でタスクとして性能を高める方向にも行きたいし、でもそれだけできたからといってシステムに使えるわけでもないの、**有機的につなげてサービス提供するみたいな方向に広げていきたい**です。

片淵：AIZE はほぼ自分たちのプロパーでやってきましたので、そこは守っていきたいですね。開発のスピードを早めるために外部に渡してもいい部分はあるかもしれませんが、自社ブランドを研ぎ澄ましていくためにも、**トリプルアイズ独自の AI 技術にはこれからこだわっていき**たいと思います。（了）

4. 【IT 批評】 今月の特集記事

生成系 AI ブームで注目される ELSI とは何か？

大阪大学社会技術共創研究センター長・岸本充生氏に聞く



ChatGPT をはじめとする生成 AI の爆発的な進化により、**AI は人間に脅威を与えるようになって**います。国家と企業は垣根を超えての**規制やルールづくり**に乗り出しています。

2020 年より新しいテクノロジーが社会実装される際に生じる課題を研究してきたのが大阪大学の通称 **ELSI センター**です。当センター長である岸本充生氏に、**AI 実装がもたらす喫緊の課題**とは何か、それをどのように捉えているのかお聞きしました。

<https://it-hihyou.com/>

ぜひご一読ください！

- 経済学者が取り組むテクノロジーのリスクアセスメント 8/2 公開
- AI が AI らしくあるようにする重要性 8/3 公開
- 企業が目指すべき「社会技術」という競争優位 8/4 公開

編集後記

今回も最後までお読みいただきありがとうございました。

最近の話題といえば、Twitter の名称が「X」に変わり、青い鳥のロゴも廃止されたこと。

このところ、Twitter の変化のスピードとその方向性には驚かされますね。

業務中「トリプルアイズ Twitter 更新しよう！」とお気に入りタブより水色のアイコンを探すも見つからず、「そういえば黒色に変わったんだ」と気づく流れをもう何度やったことか。

そろそろ慣れたいものです。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
